

小学生の保護者の皆さまへ

アンケート調査へご協力ください

日頃は福島市の福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では、子ども・子育て支援法に基づき、「福島市子ども・子育て支援事業計画」（以下、事業計画）を策定し、保育所、幼稚園、放課後児童クラブなどの子育て施設の充実と連携の強化を図っております。

現在の事業計画の計画期間は平成31年度までとなっており、今年度から次期事業計画（計画期間：平成32年度～36年度）の策定に向けた検討を始めております。

このアンケートは、保護者の皆さまから、現在の子育て施設などの「利用状況」や「今後の利用希望」などをお伺いし、必要となるサービスの量などを、事業計画に反映させるために実施するものです。

お忙しいなか誠にお手数ですが、本市の子育て環境のさらなる充実のために、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年 月

福島市

調査票の記入にあたって

○この調査は、平成30年10月31日現在、本市に住民登録のある小学1年生から6年生までのお子さん（平成18年4月2日以降、平成24年4月1日以前生まれ）の中から約2,900名を抽出して、その保護者の方をお願いするものです。

○本調査で回答していただいた内容は、上記の目的以外には使用いたしません。また、調査の回答はすべて統計的に処理し、皆さまにご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお書きください。

○記入していただいた調査票は、 月 日（ ）までに、同封の返送用封筒に入れて、担任の先生にお渡しください。

○このアンケート調査に関するお問合せは、下記へお願いします。

こども未来部 こども政策課 こども政策係

TEL (024) 572-3416 【直通】

福島市

アンケートは4ページからになります。

福島市における教育・保育事業の実施状況

1～3ページは福島市の主な教育・保育事業の一覧です。
アンケート記入の参考にしてください。

サービスの名前	サービスの概要	対象者	利用可能な時間	利用料
公立・私立認可 保育所（園） （通常保育事業）	保護者の就労等により家庭での保育が難しい場合に、市長の認可を受けた保育所でお子さんをお預かりし、乳幼児期からの保育を提供します。	家庭での保育が難しい、小学校就学前の子ども	（施設により異なる） 月～土曜日※祝日除く 8:00 前後 ～18:00 前後	月額 (0～2歳) 0～68,000円 (3歳) 0～35,500円 (4・5歳) 0～29,400円
施設数 市立 13 私立 31				
小規模保育施設	上記と同じ内容で、保育所より少人数の子どもを保育する施設です。	上記と同じ条件で、0～2歳の子ども	施設により異なる	施設により異なる
施設 私立 17				
私立認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設で、就学前の幼児教育と保育をあわせて提供します。	小学校就学前の子ども	施設により異なる	施設により異なる
施設数 幼保連携型 6 幼稚園型 3				
公立・私立認可 保育所（園） （延長保育事業）	保護者の就労時間や通勤時間の確保のため、通常保育の時間をおおむね30分以上延長して、保育所でお子さんをお預かりします。	実施保育所に入所中で延長保育が必要と認められる子ども	（施設により異なる） 月～土曜日※祝日除く 7:00 前後 ～19:00 前後	公立保育所 月額 2,500円 日額 200円 私立認可保育所 施設により異なる
施設数 市立 13 私立 31				
小規模保育施設 （延長保育事業）	上記と同じ内容で、小規模保育施設で実施するものです。	上記と同じ条件で、0～2歳の子ども	施設により異なる	施設により異なる
施設数 私立 17				
私立認定こども園 （延長保育事業）	上記と同じ内容で、私立認定こども園で実施するものです。	上記と同じ条件で、0～2歳の子ども	施設により異なる	施設により異なる
施設数 幼保連携型 6 幼稚園型 3				

サービスの名前	サービスの概要	対象者	利用可能な時間	利用料
認可外保育施設 施設数 28	市長の認可を受けていないが届出をおこなった保育所で、通常保育、一時預かり、夜間保育などのサービスを提供します。	小学校就学前の子ども	施設により異なる	施設により異なる
公立幼稚園 施設数 市立 22 (内、休園 3) 国立 1	小学校以降の学習や生活の基盤を作るため、公立幼稚園でお子さんをお預かりし、就学前の幼児教育を提供します。	市立 4・5 歳児 国立 3～5 歳児	(施設により異なる) 平日 8:30～14:00 前後 水曜日 8:30～11:30 前後	市立幼稚園 (所得等に応じて異なる) 月額 最大 6,300 円 ※国立幼稚園 月額 6,100 円
公立幼稚園の預かり保育 施設数 3	市立幼稚園で、教育課程に係る教育時間以外の時間帯に保育サービスを提供します。 ※ふくしま南幼稚園、ふくしま東幼稚園、笹谷幼稚園のみ実施	実施園に在園する園児で希望する子ども	平日 18:00 まで	預かり保育料 月額 300 円 教材・おやつ代 月額 100 円
私立幼稚園 施設数 15	小学校以降の学習や生活の基盤を作るため、私立幼稚園でお子さんをお預かりし、就学前の幼児教育を提供します。	満 3 歳児～ 5 歳児 ※施設により異なる	(施設により異なる) 平日 8:30 前後 ～14:00 前後 水曜日 8:30 前後 ～11:30 前後	施設により異なる ※奨励費補助制度あり ※軽減補助制度あり
私立幼稚園の預かり保育 施設数 13	私立幼稚園で、教育課程に係る教育時間以外の時間帯に保育サービスを提供します。	※市立幼稚園に同じ	(施設により異なる) 平日 19:00 前後まで ※施設により土曜日、午後までの実施あり	施設により異なる
放課後児童クラブ (学童クラブ) 施設数 73	保護者が昼間家にいない小学生のお子さんの健全な育成を図るため、授業の終了後に適切な遊びの場と生活の場を提供します。	家庭内保育が難しい小学生	クラブにより異なる	クラブにより異なる (平均月 10,000 円～ 12,000 円程度)
地域子育て支援センター 施設数 23	地域に密着した児童福祉施設として、在宅で子育て中の保護者とお子さんへ、育児相談、遊びの場などを提供します。	在宅で子育てをおこなっている保護者と子ども	施設や事業により異なる	無料 (材料費などは負担)
家庭教育学級 施設数 16 学級数 28	楽しく子育てができるよう、子育て中の保護者とお子さんへ、学習センターで親子のふれあいや遊び、育児についての学習、参加者同士の交流の場を提供します。	おもに乳幼児とその保護者	事業の内容により異なる	無料 (材料費などは負担)

サービスの名前	サービスの概要	対象者	利用可能な時間	利用料
ファミリーサポートセンター	育児の援助を依頼したい保護者と育児を援助できる人が会員登録し、保護者へ援助の紹介、あっせんをおこないます。	0歳～おおむね小学6年生の保護者	随時	平日 7:00～21:00 1時間あたり (0歳～3歳) 800円 (4歳～6歳) 700円 (7歳以上) 600円 上記以外の時間 100円増 病児・病後児の預かり 100円増
施設数 1				
子育て短期支援事業(ショートステイ)	保護者の疾病・出産・看護・災害等により、子育てが困難になった場合、お子さんを福祉施設で一時的にお預かりします。	2歳～小学校就学前の子ども	7日以内	日額 2,750円 ※市民税非課税世帯は1,000円 生活保護世帯及びひとり親かつ市民税非課税世帯は無料
施設数 3				
シルバー人材センター	人生経験豊かなシルバー人材センター会員が、お子さんの訪問型一時預かり、保育所や幼稚園への送迎、子育て相談等、幅広い子育て支援サービスをおこないます。	子どもの保護者 ※依頼内容により、可否の判断あり	随時	内容により異なる
施設数 1				
児童センター	健全な遊びをとおり、心身の健康増進を図りながら、お子さんの集団的個別的指導をおこないます。	18歳未満の児童とその保護者	平日、土曜 10:00～18:00	無料 (材料費などは負担)
施設数 5				

アンケートはこの4ページから12ページまであります。

記入にあたってのお願い

- ・お答えは、設問に従い、あてはまる回答の番号か回答欄に○印をつけてください。
- ・お答えのうち□欄は数字、その他を回答した場合は（ ）欄に、内容を具体的にご記入ください。

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区をお答えください（あてはまる番号1つに○）。

- | | | | | | | |
|--------|--------|-----------|--------|---------------------|--------|-------|
| 1. 中央 | 2. 渡利 | 3. 杉妻 | 4. 蓬萊 | 5. 清水 | 6. 東部 | 7. 北信 |
| 8. 吉井田 | 9. 西 | 10. 土湯温泉町 | 11. 信陵 | 12. 立子山 | 13. 飯坂 | |
| 14. 松川 | 15. 信夫 | 16. 吾妻 | 17. 飯野 | 18. わからない（住所：_____） | | |

あて名のお子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

平成 □□年 □□月

問3 あて名のお子さんを含めた、きょうだいの人数を□内に数字でご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

きょうだいの人数 □人
一番下のお子さんの生年月 平成 □□年 □□月

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（_____） |
|-------|-------|---------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者（夫または妻）の有無についてお答えください（あてはまる番号1つに○）。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 あて名のお子さんの子育てを主におこなっているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（あてはまる番号1つに○）。

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（_____） | |

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか（あてはまる番号すべてに○）。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問8 あて名のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人や機関は誰（どこ）ですか（あてはまる番号すべてに○）。

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | |
| 4. 子育て支援施設（子育て支援センター、放課後児童クラブ、児童センター・NPO） | |
| 5. 保健師 | 6. 保育所、幼稚園、認定こども園 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師・看護師 |
| 9. 自治体の子育て関連担当窓口 | 10. その他（【例】子育てサークル） |
| 11. いない | |

保護者の就労状況について

問9 あて名のお子さんの、ご両親それぞれの、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください（母親・父親それぞれのあてはまる番号1つに○）。

回答項目	(1) 母親	(2) 父親
《記入例》	○	○
1. フルタイム（※）で就労中		
2. フルタイム（※）だが、産休・育休・介護休業中		
3. パート・アルバイト等で就労中		
4. パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		
6. これまで就労したことがない		

※フルタイムとは、1日8時間・週5日程度の就労を指します。

問10 問9で「1」から「4」に○をつけた方（就労している方）にうかがいます。

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」、「家に帰る時間」について、母親、父親それぞれに、もっとも多いパターンを□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字、時間は24時間制）。

また、土曜日、日曜日、祝日の就労がある場合には、あてはまる番号すべてに○をつけてください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

質問項目	母 親	父 親
1週あたりの就労日数	□ □ 日	□ □ 日
1日あたりの 就労時間	□ □ 時間	□ □ 時間
家を出る時間	□ □ 時	□ □ 時
家に帰る時間	□ □ 時	□ □ 時
土曜日・日曜日・祝日の 就労の有無 （「ある」場合に○）	1. 土曜日 2. 日曜日 3. 祝日	1. 土曜日 2. 日曜日 3. 祝日

問11 問9で「3」または「4」に○をつけた方（パート・アルバイト等の方）にうかがいます。

フルタイムでの就労を希望していますか（母親・父親それぞれのあてはまる番号1つに○）。

回答項目	(1) 母親	(2) 父親
《記入例》	○	○
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある		
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない		
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望		
4. 就労をやめて子育てや家事に専念したい		

問12 問9で「5」または「6」に○をつけた方（就労していない方）にうかがいます。

就労したいという希望はありますか（母親・父親それぞれのあてはまる番号1つに○）。

回答項目	(1) 母親	(2) 父親
《記入例》	○	○
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）		
2. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい		
3. 1年より先に就労したい		

問13 問12で「2」または「3」に○をつけた方（就労したい方）にうかがいます。

どのような就労を希望しますか（あてはまる番号1つに○）。なお、「2. フルタイム以外」に○をつけた場合は、希望する就労日数と就労時間について、□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	希望する就労形態・就労日数・就労時間
(1) 母親	1. フルタイム（1日8時間・週5日程度の就労）
	2. フルタイム以外（パートタイム、アルバイト等） 就労希望 1週あたり □ 日 1日あたり □ □ 時間
(2) 父親	1. フルタイム（1日8時間・週5日程度の就労）
	2. フルタイム以外（パートタイム、アルバイト等） 就労希望 1週あたり □ 日 1日あたり □ □ 時間

問14 問12で「3」に○をつけた方（1年より先に就労したい方）にうかがいます。

就労を始めるのは、一番下のお子さんが何歳になったところをお考えですか、□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親	一番下のお子さんが □ □ 歳になったところ就労したい
(2) 父親	一番下のお子さんが □ □ 歳になったところ就労したい

問19 問18で、「2. 放課後児童クラブを利用したい」に○をつけた方にかがいます。

どの地区の放課後児童クラブの利用を希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

また、希望する学区を()内にご記入ください。

1. 中央 ()小学校区	2. 渡利 ()小学校区	3. 杉妻 ()小学校区
4. 蓬莱 ()小学校区	5. 清水 ()小学校区	6. 東部 ()小学校区
7. 北信 ()小学校区	8. 吉井田 ()小学校区	9. 西 ()小学校区
10. 土湯温泉町 ()小学校区	11. 信陵 ()小学校区	12. 立子山 ()小学校区
13. 飯坂 ()小学校区	14. 松川 ()小学校区	15. 信夫 ()小学校区
16. 吾妻 ()小学校区	17. 飯野 ()小学校区	18. その他 ()

問20 現在、放課後児童クラブを利用している方、または利用したい方にかがいます。

土曜日、日曜日、祝日に、放課後児童クラブの利用または利用希望はありますか。(1)(2)(3)

それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字、時間は24時間制)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用している(したい)	} 利用している(したい)時間帯 ⇒ □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用している(したい)	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜

1. 低学年(1~3年生)の間は利用している(したい)	} 利用している(したい)時間帯 ⇒ □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用している(したい)	
3. 利用する必要はない	

(3) 祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用している(したい)	} 利用している(したい)時間帯 ⇒ □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用している(したい)	
3. 利用する必要はない	

問21 現在、放課後児童クラブを利用している方、または利用したい方にうかがいます。

お子さんの、夏休み・冬休みなど、長期休暇期間中に放課後児童クラブを利用、または利用希望はありますか（あてはまる番号1つに○）。また、利用または利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字、時間は24時間制）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用している（したい）	} ⇒ □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用している（したい）	
3. 利用する必要はない	

地域の子育て支援について

問22 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください（あてはまる番号に1つに○）。

満足度が低い	←————→	満足度が高い		
1	2	3	4	5

問23 定期・不定期を問わず、利用している事業について、何でお知りになりましたか？（情報源はどこでしたか？）あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 行政機関の窓口（電話での問い合わせ含む）
2. 市のホームページ
3. えがお（市の子育て支援ガイドブック）
4. 市政だより
5. 保育所等の施設
6. 近所の人、友人など
7. その他（ ）
8. 事業を利用していない

